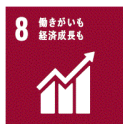




岐阜信用金庫



2025 年 3 月 31 日

株式会社 A I K I リオテックとの ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

岐阜信用金庫（理事長 好岡 政宏）は、持続可能な社会への貢献を共に実現するため、株式会社 A I K I リオテック（代表取締役 松本 一）と、「**ポジティブ・インパクト・ファイナンス**」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

岐阜信用金庫は、引き続き、地域金融機関としての責任を果たし、ポジティブ・インパクト・ファイナンスの普及と持続可能な社会を実現するために、お客さまの目標にあわせたサポートを行い、ポジティブな社会的、環境的、経済的なインパクトの実現に積極的に取り組んでいきます。

記

【契約内容】

実 行 日	2025 年 3 月 31 日
融 資 金 額	50 百万円
期 間	7 年
資 金 使 途	事業資金

【企業概要】

企 業 名	株式会社 A I K I リオテック
所 在 地	愛知県稲沢市井之口小番戸町 39 番地
代 表 者	松本 一
事 業 内 容	機械設計、製作、販売
資 本 金	3,000 万円
設 立	2009 年 12 月 28 日
第三者評価機関	株式会社 格付投資情報センター 評価レポート： https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html

以 上

株式会社 AIKI リオテック
ポジティブインパクトファイナンス評価書

発行日：2025 年 3 月 31 日

発行者：岐阜信用金庫 ソリューション営業部



岐阜信用金庫

岐阜信用金庫は、株式会社 AIKI リオテック（以下、AIKI リオテックという）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクトおよびネガティブインパクト）を分析・評価した。この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、岐阜信用金庫が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 事業概要	3
(1) 企業情報	3
(2) 沿革	4
(3) 企業理念、ビジョン、経営理念、社訓および SDG s の取り組み方針	5
(4) 事業内容	7
2. サステナビリティ	13
(1) 社会貢献に資する取り組み	13
(2) 環境保全に資する取り組み	14
(3) 社員のモチベーション向上と人材育成に資する取り組み	14
(4) 地域社会への貢献に資する取り組み	16
3. インパクトの特定	17
(1) バリューチェーン分析	17
(2) インパクトレーダーによるマッピング	18
(3) 特定したインパクト	22
(4) インパクトニーズの確認	26
4. KPI の設定	29
5. モニタリング	32
(1) 同社におけるインパクトの管理体制	32
(2) 当金庫によるモニタリング	32
(3) モニタリング期間	32

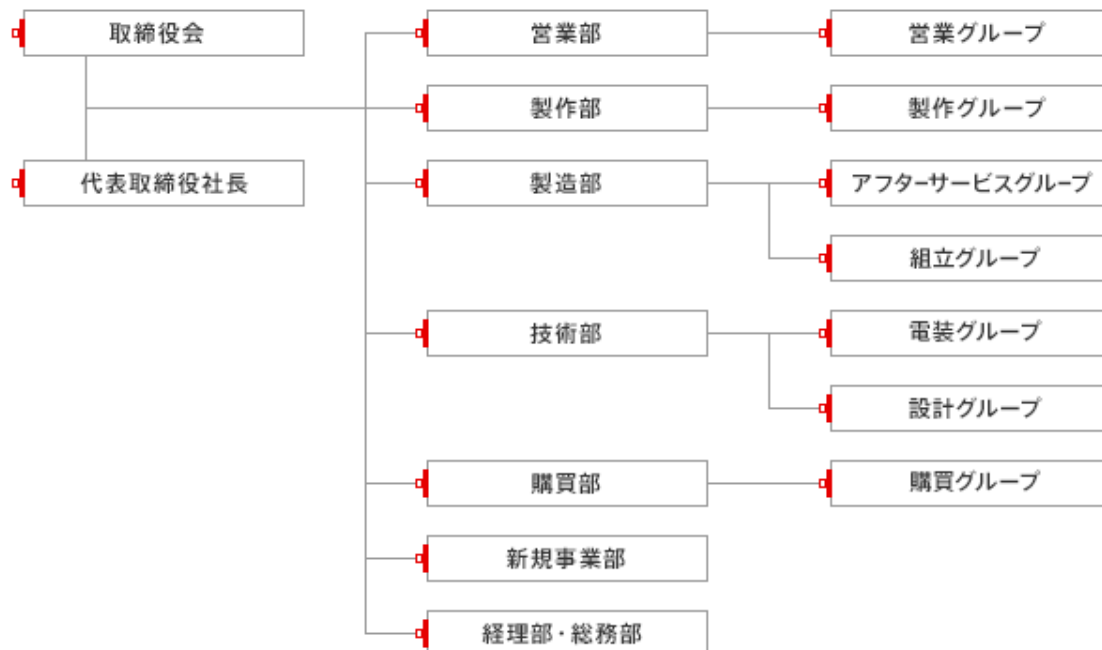
1. 事業概要

(1) 企業情報

同社は愛知県稲沢市に本社を構える産業用機械メーカーであり、合成繊維用機械、産業機械・設備、AIKI パイロットマシンシリーズ、UV-C 殺菌ランプ型空気清浄装置等を主力製品としながら日本が誇る「モノづくり」を形にし、世界へ「AIKI」ブランドを発信している。

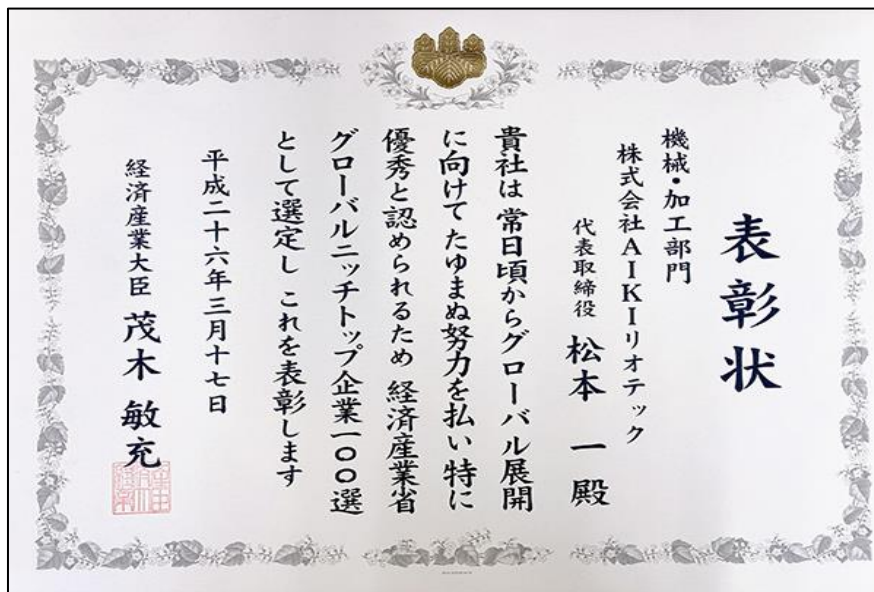
企業名	株式会社 AIKI リオテック
本社所在地	愛知県稲沢市井之口小番戸町 39
代表者	松本 一
資本金	3,000 万円
売上高	1,560 百万円 (2024 年 9 月期)
設立	2009 年 12 月
事業内容	機械設計、製作、販売
従業員数	63 名 (2024 年 12 月現在)

<組織図>



(2) 沿革

2009年12月	法人設立
2014年	経済産業省『グローバルニッチトップ企業100選 ¹ 』選定
2015年	JEC『INNOVATION AWARD』受賞
2017年7月	パイロットマシンシリーズ リリース
2020年5月	UVC 殺菌ランプ空気清浄装置 リリース
2022年	『FLOWER MADE』オフィシャルサポーター契約締結
2023年	『あいち SDGs パートナース』登録



¹ グローバルニッチトップ企業100選とは、ニッチ分野において高いシェアを確保し良好な経営を実践している企業100社を認定・顕彰し、その知名度向上や海外展開を支援するとともに、グローバルニッチ企業を目指す企業において経営上の羅針盤として活用されることを目的に経済産業省が認定する制度。中小企業は、特定の商品・サービスについて、10%以上の世界シェアを保有していることが選定要件となっている。

(3) 企業理念、ビジョン、経営理念、社訓および SDG s の取り組み方針

①企業理念、ビジョン

「人」、「技術」、「創造」をキーワードとして豊かな明日をめざし、
お客様、社会に貢献できるように日々努力いたします。



感謝と和の心で人に接し、
真心をこめてもの創りをいたします。



常に技術の向上を目指し、
自らの限界に挑戦するよう行動いたします。



お客様が豊かになり、
社会が豊かになるために
創意工夫し独創的な機械作りを目指します。

②経営理念、社訓



③SDGs の取り組み方針

	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標（※）
経済	 	・毎月1回以上の社内会議において機械製造方法の見直しを行い、計画的な生産の実現を図り、また、生産性向上により、社員一人一人が働きがいを感じる職場づくりを推進する。	・製造環境の見直しによる生産成功率向上を図り、社員が働きがいのある職場づくりを推進。（2027年まで）
社会	     	・女性活躍の推進、男女平等の雇用を図り、女性社員比率を現在より10%以上向上させ、また、若者のキャリア育成支援を目指し、インターンシップの受け入れを年1回以上行う。	・「FLOWERMADE」活動の継続（2025年まで）
環境	  	・省電力機械の開発や大学、企業の研究機械開発を毎月1台以上行い、社会貢献を図る。	・機械開発（1件/月）

2023年12月19日



SDGs行動宣言
株式会社AIKIリオテック

わが社は、企業活動を通じて、社会課題の解決に取り組み、SDGs達成に貢献しています。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
健康経営の推進	 	・製造環境の見直しによる生産性効率向上を図り、社員が働きがいのある職場づくりを推進する。
責任ある企業行動	  	・省電力機械の開発や大学、企業の研究機械開発を行い、社会貢献を図る。
パートナーシップ	  	・女性活躍の推進、男女平等の雇用を図り、女性社員比率を向上させ、また、若者のキャリア育成支援を目指し、インターンシップの受け入れを行う。

株式会社AIKIリオテックは、「人、技術、創造をキーワードとして豊かな明日をめざし、お客様、社会に貢献できるよう日々努力する」を方針として掲げ、SDGsに貢献できる機械開発を行うことを宣言致します。





(4) 事業内容

同社は合成繊維用機械を主力とした産業機械・設備、大学など様々な研究開発機関に対応した AIKI パイロットマシンシリーズ、公共施設や民間施設などに向けた UV-C 殺菌ランプ型空気清浄装置など、多様な機械設計、製作、販売を手掛けており、繊維業をはじめとする顧客産業の技術の高度化、安定化に貢献している。

なかでも、同社の主力製品群である合成繊維用空気加工機は世界のマーケットシェア 70%を超えており、空気加工機で作る糸の世界標準化にも貢献するなど国内のみならず世界の繊維産業を支えている。

同社の主な製品群

合成繊維用機械



ナイロン、ポリエステル等の長繊維に圧縮空気や熱を加えて様々な風合いの糸を製造する空気加工機、エアーカバリング機、仮撚機、分繊機の製造に加え、製造した糸を巻き取るワインダー、凹凸加工を施すギア加工機等を製造し、多様な合成繊維を加工し衣類等の原料として活用可能としている。

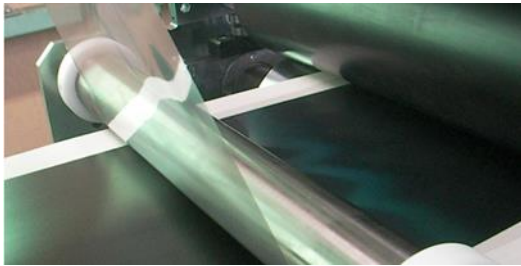


カーボンファイバー 製造関連装置



炭素繊維製造ラインの一部で原料となるアクリル繊維を次工程へ送り出す送り出し装置や炭素繊維の巻取り装置等を製造し、高品質な炭素繊維製造ラインの構築を支えている。

UD フリフレグ製造装置



炭素繊維、ガラス繊維、アラミド繊維など繊維に樹脂を含浸させて成形用中間材料を製造する装置であり、先端複合材料の開発を支えている。

各種試験装置



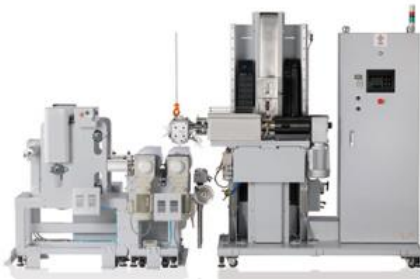
生産設備に加え、各種合成繊維素材の試験装置の提供を通じて高品質な合成繊維製造を支えている。

コーティング糸製造設備



同社ではコーティング機（被覆糸製造機）の研究、開発に長年取り組んでおり、多様なコーティング糸製造設備の提供を通じて産業資材をはじめ幅広い分野での資材高機能化に貢献している。

また、同社では様々な材料を用いたフィルムや糸の製造、糸のコーティング等の研究開発設備として大学などをはじめ研究開発機関向けの「AIKI パイロットマシンシリーズ」を展開しており、オーダーメイドでの成形ユニットや紡糸装置、試験ユニット等を顧客と連携しながら製造し、国内における繊維作業の高度化を支援している。



技術発展に向けた試験、研究に用いる試作装置の開発提供は同社の従来からの主力分野である樹脂材料、繊維分野に加え、技術力への評価より食品、環境、航空宇宙などにも広がっており、大学や企業の研究者、開発者と直に話しながらニーズを把握し、課題解決に向けて顧客と連携しながら試作装置を作り上げている。

これら同社の「AIKIブランド」を支える技術力の基盤として、産業用機械メーカーとして合成繊維用機械の設計から開発、製造、検査までの一連の工程を社内で完結させる製造体制、各工程技術が挙げられる。

AIKIパイロットマシンシリーズ



繊維関連



小型紡糸装置
ALM-S1000/S3500



湿式紡糸
試験機
AIKI-SS001

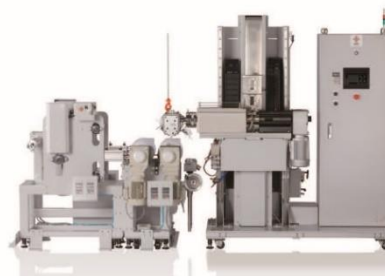
フィルム／不織布関連



インフレーション
成形ユニット
ALM-IMF30



メルトブローン
試験ユニット
ALM-MB 【昇降式押出機使用モデル】



Tダイ式フィルム成形ユニット
ALM-TMF200

miniLINE



超小型紡糸装置
ALM-miniLINE-S100



超小型Tダイ成形装置
ALM-miniLINE-T50

同社における主な加工工程の概要

金属加工工程



レーザー加工、切削加工、曲げ加工といった一連の金属加工を社内で完結できる体制を整備し、加工工程ごとに一筆書きで部材を循環させるレイアウトにて効率的な金属加工を実現している。

溶接加工工程



社内に溶接ブースを整備し、機械架台、各パーツについての溶接加工を内製化している。
溶接ブース内は集塵環境を整備し、ヒュームによる加工担当者の健康被害を防止している。

塗装工程



塗装ブース、乾燥庫を整備し、金属加工、溶接加工を経た部品パーツの塗装を内製化している。また、塗装で発生する廃液は通常の排水経路とは別排水とし、循環させたうえで廃棄処理している。

部品組立工程



社内にて金属加工した部材と外部調達した電装品を組み合わせ、空気加工機等のパーツを組み上げる工程であり、作業の標準化や治具の開発活用を通じて高品質かつ効率的な製造を実現している。

全体組立工程



社内に大型機械の全体組立に必要なスペースを確保し、製造した各パーツを組み上げテスト実施の上で出荷している。

また、社内に合成繊維素材に関する簡易検査・検証環境を整備しており、この簡易検査・検証環境にて研究機関等と打合せのうえで、パイロットシリーズの開発方針を決定している。

検査・検証環境



社内に防塵の検査・検証環境を構築し、パイロットシリーズにおける検査機等の開発に向けた事前検証を実施できる体制を整備することで各種研究機関とのパイロットシリーズ開発に向けた打ち合わせ、共同開発を円滑に進めている。

合成繊維用機械の開発、製造を通じて蓄積してきた押し出し、巻き取り、延伸を中心としたノウハウ、技術の活用、パイロットマシンシリーズの展開を通じた他産業へのノウハウ、技術の応用力や各種仕入れ先等との連携体制を活用し、同社では UV-C ランプ（高出力紫外線殺菌灯）を用いた空気清浄装置など時代や顧客ニーズにあわせた製品についても展開している。

新製品開発（空気清浄装置）



UV-C ランプ（高出力紫外線殺菌灯）を搭載した空気中のウイルス・細菌・カビ等を不活化させる独自の空気清浄装置の開発、提供により、医療機関や空港、教育機関、文化施設等様々な場所の衛生環境向上を支援している。

2. サステナビリティ

(1) 社会貢献に資する取り組み

同社では合成繊維用機械を主力に多様な産業用機械の設計、開発提供を通じて国内外の衣類等原料の安定生産を支え、サプライチェーンの安定化、高度化に貢献しており、また研究機関と連携した先進材料研究体制の整備を通じて各種原料の高機能化に貢献している。

具体的取り組み内容は以下の通りである。

【合成繊維・炭素繊維関連を中心とする国内外への加工機械の安定提供】

- ・ナイロン、ポリエステル等の長繊維を糸へ加工する各種合成繊維加工機や、カーボンファイバー製造関連装置を国内およびアジア、欧米へ安定提供し、世界各国における衣類等の原料の安定供給を下支えしている。
- ・自社製装置に加え、他社製機械についても点検、修理、入替に対応することで衣類等の原料の安定提供を支えている。
- ・空気加工機では世界シェア 7 割を超えており、ニッチ分野で高いシェアを持つ中堅・中小企業を選定する経済産業省「グローバルニッチトップ企業 100 選」に選定されている。

【研究機関と連携した先進材料研究への貢献】

- ・大学、企業など研究機関と連携し、樹脂材料の試験、研究に用いる試作装置製作を手掛け、先進の材料研究の推進体制整備、技術発展に貢献している。
- ・研究機関と連携した試作装置開発については、同社が得意とする樹脂材料のみならず、食品、環境、航空宇宙など多様な分野からの依頼に対応している。

【高品質空気清浄機等の提供を通じた衛生環境向上への貢献】

- ・高出力 UV-C 殺菌ランプを搭載した独自の空気清浄装置の開発、提供により、医療機関や空港、教育機関、文化施設等様々な場所の衛生環境向上に貢献している。

【新製品開発を支える高い発明能力】

- ・同社は高い発明能力により、継続的な製品開発を可能にするとともに、高い技術力を保持し、世の中のニーズを満たす製品づくりを実現している。（現在有効特許技術：12 件）

(2) 環境保全に資する取り組み

同社では社内製造体制における廃棄物抑制や省エネルギー化推進の取り組みに加え、省エネ型産業機械の提供を通じて産業全体での環境負荷抑制を目指している。

具体的な取り組み内容は下記の通りである。

【産業廃棄物の削減、適正廃棄】

- ・切粉や切削油については回収しリサイクル業者へ引き渡すことで産業廃棄物の増加を抑制している。
- ・塗装工程で発生する廃液は別排水とし、循環させたうえで適正に廃棄している。
- ・梱包資材等については繰り返し再利用することで廃棄物の増加を抑制している。

【省エネルギー化の推進】

- ・生産設備の定期的な省エネ設備への更新、効率的な加工プログラムの開発、利用により、生産過程における過剰なエネルギー使用の抑制に取り組んでいる。
- ・社内照明 LED 化推進を通じて、事務所、工場のエネルギー使用量の削減に取り組んでいる。
- ・事業活動で排出される CO2 の中心となる電気使用量について、月次単位で使用量推移を把握できる環境を整備し、使用実績に基づく電力量削減に向けた改善活動に取り組んでいる。

【産業全体での廃棄物削減、省エネルギー化推進の後押し】

- ・設備納品先の規模や加工内容にあわせカスタマイズした省エネ加工設備の製造提供を通じて産業全体での過剰なエネルギー使用抑制を後押ししている。
- ・適正サイズの試験機の開発提供を通じて、試験に伴い発生する廃棄物の削減、過剰なエネルギー使用の抑制を後押ししている。

【システム構築によるペーパーレス化の推進】

- ・電子帳簿保存法への対応による新システムの構築など、事務手続上必要となる紙の使用量削減に取り組むことで、ペーパーレス化を推進している。

(3) 社員のモチベーション向上と人材育成に資する取り組み

同社では個々の従業員がやりがいを持って健康に働き続けられる会社を目指し取り組んでいる。

具体的な取り組み内容は下記の通りである。

【従業員のスキルアップ、モチベーション向上の推進】

- ・入社後の計画的な研修受講、OJT 体制の整備に加え、部門別研修の定期開催や毎日の朝礼での部門別の情報共有の実施等により、業務に必要なスキルを体系的に習得できる環境を整備している。また、スキルマップによる業務上習得が必要となるスキルの見える化や作業標準化を通じて対応可能要員の拡大、作業負荷の分散につなげている。

- ・業務上必要となるスキルの習得環境としては OJT を基本としながら、必要に応じて社外講師を招いての研修を実施し、また玉掛技能士やフォークリフト免許、旋盤等の技能検定など業務上有効と考えられる資格取得については会社負担にて取得を支援している。機械加工（旋盤、マシニングセンタ等）技能検定では、特級を 1 名排出し、高い技術力の習得に取り組んでいる。
- ・スキルの習得状況等については、半期ごとに各従業員が上長面談、社長面談できる体制を整備し、目標設定と振り返りの機会を創出している。また、週次での社内会議など、現場レベルでの業務改善を促進、実践できる環境を整備している。

【多様な人材の就労機会の創出】

- ・再雇用制度の活用による高齢者就業機会の創出、産休・育休・介護休業制度の制定、活用による従業員のワーク・ライフ・バランス確保に努めている。また、労働条件については従業員 1 名 1 名と面談のうえ個々の状況を勘案して決定し、フレックス勤務制度等も活用しながら多様な人材が柔軟に働き続けられる環境整備に努めている。
- ・受注スケジュールに基づく繁忙見込みについて社内全体で共有し、案件納期を遵守しながらも各従業員が有給休暇を取得しやすい環境を整備し、有給休暇については時間単位での利用制度も活用し取得を推奨している。

【従業員が健やかに働き続けられる職場環境形成】

- ・作業着の支給、安全関連備品の支給など、従業員が健やかに働き続けられる職場環境整備に努めている。また、社内イベント開催等を通じた部門間でのコミュニケーション促進によっても安心して働き続けられる職場環境の形成に努めている。

社内イベントによる従業員コミュニケーションの促進



同社では BBQ 大会の開催など、従業員が交流できるイベントを不定期で開催している。
当日は従業員の家族も参加し、親睦を深める機会を創出している。

(4) 地域社会への貢献に資する取り組み

同社では地域と一体となって社会資本を維持していくため、地域社会への貢献活動についても積極的に取り組んでいる。

具体的な取り組み内容は下記の通りである。

【持続可能な社会づくりへの貢献】

- ・地域学校からの現場見学の積極的な受け入れや障がい者と若者の支援に取り組む
- 「FLOWER MADE²」のオフィシャルサポーター契約など、持続可能な共生社会の実現に向け取り組んでいる。

² FLOWER MADEとは、東邦フラワー株式会社（運営会社）と株式会社好生館プロジェクト（パートナー企業）が運営するプロジェクト。“障がいのある方の雇用促進や就労定着”と、“学生を中心とした若者のキャリア形成”を通じて、持続可能な共生社会を作り上げることで地域貢献を実現している。

3. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

インパクトの特定のため、同社主力事業についてバリューチェーン分析を実施した。

同社は産業機械メーカーとして、機械設計、開発、製造の各工程について一連で対応している。製造においては金属素材や電装品等は外部より調達し、金属加工、溶接加工、塗装加工、部品組立、全体組立までの一連の工程に関して社内で完結できる体制を整備している。

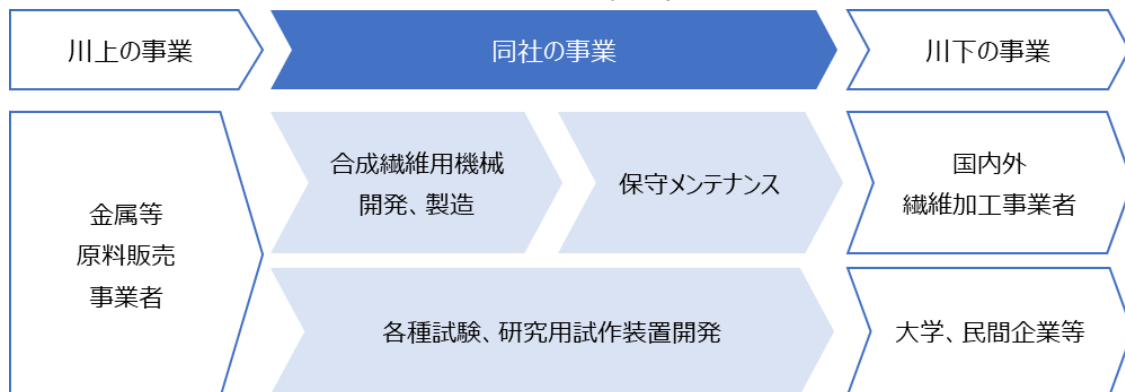
同社主要製品は合成繊維素材の製造用設備、試験装置であり、国内外の合成繊維素材製造事業者へ製品を提供しており、合成繊維用空気加工機は世界のマーケットシェア 70%を超えている。

また、大学などをはじめ研究開発機関向けのオーダーメイドでの成形ユニットや紡糸装置、試験ユニット等を顧客と連携しながら製造する「AIKI パイロットマシンシリーズ」の展開や、事業展開の中で蓄積してきたノウハウ、技術を活用した高出力 UV-C 殺菌ランプを搭載した独自の空気清浄装置を医療機関や空港、教育機関、文化施設等に提供している。

なお、本評価書では主力事業である合成繊維用機械開発、製造および各種試験、研究用試作装置開発について分析を行い、空気清浄装置の開発製造販売等については同社事業における売上構成が軽微であることから以降の分析を省略する。

同社のバリューチェーン図

(図は同社提供資料をもとに岐阜信用金庫にて作成)



(2) インパクトレーダーによるマッピング

先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。

同社の事業および川上・川下の事業を国際産業標準分類（ISIC）上の業種カテゴリに適用させた上、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」（以下 PI）と「ネガティブインパクト」（以下 NI）を想定する。

同社の事業については「繊維、衣服及び皮革製造機械製造業（ISIC:2826）」を、川上の事業については「金属の処理・塗装・機械加工業（ISIC:2592）」を、川下の事業については「織物繊維準備業及び紡績業（ISIC:1311）」、「人造繊維製造業（ISIC:2030）」をそれぞれ適用し、発生するインパクトの検証を行った。

◎：主要カテゴリ ○：関連カテゴリ

			川上の事業		同社の事業		川下の事業			
			①		①		①		②	
国際産業標準分類			【2592】 金属の処理・塗装・ 機械加工業		【2826】 繊維、衣服及び皮 革製造機械製造業		【1311】 織物繊維準備業 及び紡績業		【2030】 人造繊維製造業	
大分類	インパクトエリア	インパクトトピック	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
社会	人格と人の 安全保障	紛争								
		現代奴隷						○		
		児童労働						○		
		データプライバシー								
		自然災害								
	健康及び安全性	健康及び安全性		○	○	○	○	○		○
		水						○		
	資源とサービスの 入手可能性、 アクセス可能性、 手ごろさ、品質	食糧								
		エネルギー								
		住居								
		健康と衛生								
		教育								
		移動手段								
		情報								
		コネクティビティ								
		文化と伝統								
		ファイナンス								
	生計	雇用	○		○		○		○	
		賃金	○	○	○	○	○	○	○	○
		社会的保護		○		○		○		○
	平等と正義	ジェンダー平等						○		
		民族・人種平等								
		年齢差別								
		その他の社会的弱者						○		
社会経済	強固な制度・ 平和・安定	法の支配								
		市民的自由								
	健全な経済	セクターの多様性								
		零細・中小企業の繁栄			○		○			
	インフラ	インフラ	○							
自然環境	気候の安定性	気候の安定性		○		○		○		○
		水域		○		○		○		○
	生物多様性と 生態系	大気		○		○		○		○
		土壌								○
		生物種								○
		生息地						○		○
		資源強度		○		○		○		○
	サーキュラリティ	廃棄物		○		○		○		○

上表のうち、川上の事業は同社事業活動が与える影響については軽微なものとなるため、分析を割愛している。また、川下の事業については「織物繊維準備業及び紡績業（ISIC:1311）」における「健康及び衛生」のポジティブインパクトのみを分析対象とし、その他のインパクトエリア・インパクトトピックについては同社事業活動が与える影響については軽微なものとなるため、分析を割愛している。

同社の事業① 繊維、衣服及び皮革製造機械製造業（ISIC:2826）

PI	「健康及び安全性」「雇用」「賃金」「零細・中小企業の繁栄」
NI	「健康及び安全性」「賃金」「社会的保護」「気候の安定性」「水域」「大気」「資源強度」「廃棄物」

【社会面】

◆「健康及び安全性」

高品質な衣類製造は人々の身体を守り、快適な生活の実現を通じて健康・衛生を増進させるという PI が発現する。一方、労働環境によっては従業員の安全が守られないという NI が発現する。

同社では合成繊維用空気加工機をはじめ、多様な衣類用合成繊維の加工機の安定提供、機能向上に取り組み、高品質な衣類素材の開発、提供を支えることで PI を拡大している。一方、従業員が安全に就業できる環境を整えるための安全教育の徹底や作業着の支給、安全関連備品の支給など、労働形態の改善を通じて NI を緩和している。

上記は SDG3「すべての人に健康と福祉を」、SDG8「働きがいも経済成長も」に該当する。

- 「8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある人々を含め、すべての労働者を対象に、労働基本権を保護し安全・安心な労働環境を促進する。」

◆「雇用」「賃金」「社会的保護」

従業員の雇用と賃金の創出という PI が発現する。一方、雇用形態によっては従業員の雇用や賃金、社会的保護が守られず従業員の生計を脅かすという NI が発現する。

同社では高齢者就業機会の創出を通じた地域における多様な人材の雇用機会の創出や従業員のスキルアップ支援体制の整備に取り組み PI を拡大している。

一方、産休・育休制度、時間単位有給休暇制度の制定、活用による仕事と育児の両立支援を実施することで NI を緩和している。

上記は SDG8「働きがいも経済成長も」に該当する。

- 「8.5：2030 年までに、若者や障害者を含むすべての女性と男性にとって、完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい仕事を実現し、同一労働同一賃金を達成する。」

【社会経済面】

◆「零細・中小企業の繁栄」

事業活動により地域経済が活性化するという PI が発現する。

同社では国内に加えアジア、欧米など世界各国へ合成繊維加工機械を提供し、衣類をはじめ多様な分野で活用される先進材料の開発、普及を後押しし PI を拡大している。

上記は SDG9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に該当する。

【自然環境面】

◆「気候の安定性」

非効率な製造プロセスはエネルギーを過剰に使用し、温室効果ガスの増加要因となり気候に悪影響を及ぼすという NI が発現する。

同社では継続的な改善活動のもとでの効率的な加工、製造の実施に加え、社内照明の LED 化推進や電力使用量実績推移に基づく継続的な省エネ活動の推進により、NI の緩和に努めている。

上記は SDG12「つくる責任つかう責任」、SDG13「気候変動に具体的な対策を」に該当する。

◆「水域」「大気」

産業用機械の製造プロセスにおいて、水質汚染や大気汚染の原因となる可能性があるという NI が発現する。

同社では製造過程で発生する切粉や切削油の回収に加え、塗装工程で発生する廃液の適正管理の徹底により、NI の緩和に努めている。

上記は SDG12「つくる責任つかう責任」に該当する。

◆「資源効率」「廃棄物」

製造過程で発生する廃棄物や老朽化した機械の適正な処分がおこなわれないことに起因する産業廃棄物の増加という NI が発現する。

同社では製造過程で発生する切粉や切削油について回収、リサイクル業者への引き渡しを徹底しており、また梱包資材等については繰り返しの再利用を推進することで NI の緩和に努めている。その他、ペーパーレス化の一環として、社内システムの改善による紙使用量の削減により NI の緩和に努めている。

上記は SDG12「つくる責任つかう責任」に該当する。

川下の事業① 織物繊維準備業及び紡績業（ISIC:1311）

PI	「健康及び安全性」
NI	

【社会面】

◆「健康及び安全性」

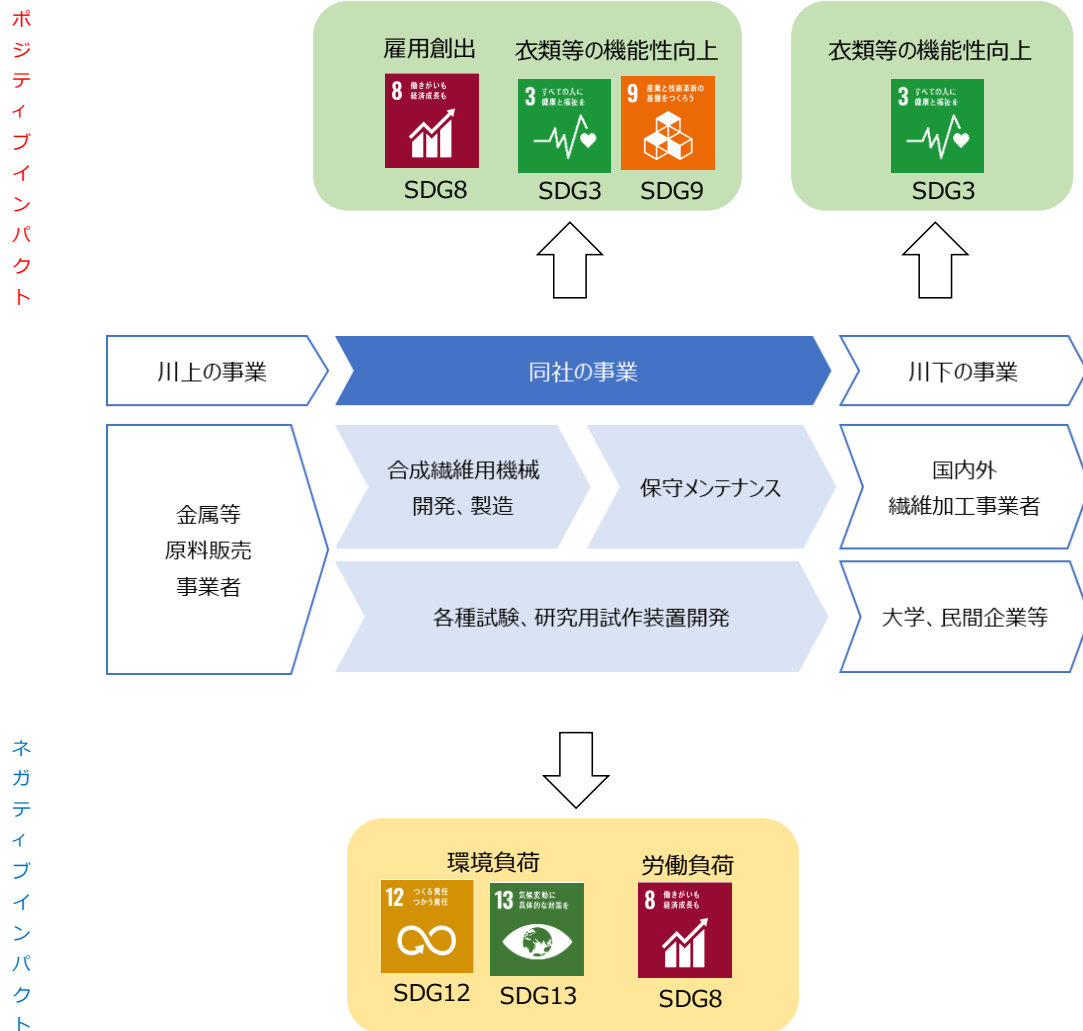
高品質な衣類製造は人々の身体を守り、快適な生活の実現を通じて健康・衛生を増進させると
いうPIが発現する。

同社では大学など研究開発機関と連携した試作装置の提供を通じて合成繊維の高機能化を
支え、PIを拡大している。

上記はSDG3「すべての人に健康と福祉を」に該当する。

(3) 特定したインパクト

下図は「バリューチェーン分析」「インパクトマッピング」の結果を踏まえて、同社のバリューチェーンが与えるインパクトを可視化したものである。



以上を踏まえて、同社の重要なインパクトを下記の3つに特定した。

【重要なインパクト】

- ①「技術者を助け技術発展に貢献する製品の開発」
- ②「環境負荷低減への取り組み推進」
- ③「働き続けやすい職場の形成」

① 技術者を助け技術発展に貢献する製品の開発：SDG9



同社は合成繊維用機械を主力に多様な産業用機械の設計、開発、国内外の繊維事業者への提供を通じて衣類等の原料となる繊維の安定流通に貢献している。

また、技術発展に向けた試験、研究に用いる試作装置について、研究機関の研究者、開発者と直に話しながらニーズを把握し、課題解決に向けて顧客と連携しながら試作装置を開発提供することで繊維分野に加え、食品、環境、航空宇宙など多様な分野の技術発展に貢献している。これら合成繊維用機械や試作開発機に加え、事業展開の中で蓄積してきたノウハウ、技術を活用した高出力 UVC 殺菌ランプを搭載した独自の空気清浄装置の開発、提供により、医療機関や空港、教育機関、文化施設等様々な場所の衛生環境向上に貢献している。

今後においても、研究機関等と連携しながらの「パイロットマシンシリーズ」の開発を通じての技術革新を図っていくとともに、新技術の普及タイミングにおいて国内外の合成繊維等加工事業者への加工設備の製造販売につなげていくというサイクルを循環させ業界全体での技術発展に貢献していく。

また、各種先進設備の開発を通じて蓄積したノウハウ、技術を活用しながら合成繊維分野以外の新分野に関しても同社の求められる範囲の拡大を図っていく方針としている。

これらのインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「零細・中小企業の繁栄」のインパクトトピックに該当し、社会経済的側面の PI を拡大すると考えられる。

② 環境負荷低減への取り組み推進：SDG12、13



同社では機械メーカーとして設計から開発、製造の一貫体制のもと、各製造工程においても社内で内製化し継続的な改善活動に取り組みながら不良発生を抑制することで製品の安定提供と環境負荷抑制を両立している。

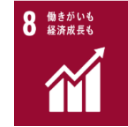
また、生産設備の定期的な省エネ設備への更新や社内照明 LED 化推進等を通じて、事務所、工場のエネルギー使用量の削減、CO2 排出量削減に取り組んでいる。

加えて、製造過程で発生する切粉や切削油の回収、リサイクルや梱包資材の再利用推進を通じて廃棄物発生の抑制に努めている。

今後においては、事業活動に伴う CO2 排出量の見える化を図っていき、CO2 排出量の現状把握を通じて脱炭素化計画の策定、計画に基づく CO2 排出量の削減に取り組んでいく方針である。また、電子帳簿保存法への対応により社内システム再構築に努めることで、ペーパーレス化の推進を図っていく方針である。

これらのインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「気候の安定性」「廃棄物」のインパクトトピックに該当し、自然環境的側面の NI を緩和する。

③ 働き続けやすい職場の形成：SDG8



同社では「人」「技術」「創造」をキーワードに豊かな明日をめざし、お客様、社会に貢献できるように日々努力を積み重ね、雇用の創出と従業員のスキルアップに貢献している。

雇用については、再雇用制度の制定、活用による高齢者就業機会の創出をはじめ地域における多様な人材の雇用創出に貢献している。また、各種休暇制度の活用や時間単位での年休取得制度の活用などを通じ従業員のワーク・ライフ・バランス確保に努めることで、従業員が長く安心して働き続けられる職場づくりを推進している。

スキルアップについては、入社後の計画的な研修受講、OJT 体制の整備に加え、部門別研修や外部講師を招いての研修実施や、玉掛技能士やフォークリフト免許、旋盤等の技能検定をはじめ業務上有用と考えられる推奨資格の設定、取得支援や資格手当の活用により従業員がモチベーション高く自発的にスキルアップに取り組むことのできる環境を整備している。また、半期ごとのスキルマップに基づく目標設定、振り返りを通じて自己成長を確認できる環境を整備し、業績と従業員の成長度合いに応じた給与設定、賞与設定により業務への取り組みが公平に評価される職場環境形成を推進している。近年では、機械加工（旋盤、マシニングセンタ等）技能検定の特級合格者 1 名を排出し、従業員の専門性を高める人材育成をおこなっている。

今後においても、従業員が働きやすい職場づくりに取り組み、雇用創出につなげていく方針である。また、より高度な製品開発のために、従業員のスキルレベル向上は不可欠であり、更なる社内人材の育成と同社の価値向上を図っていく。

これらのインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「雇用」のインパクトトピックに該当し、社会的側面の PI を拡大すると考えられる。

(4) インパクトニーズの確認

① 日本におけるインパクトニーズ

同社売上の大半は日本国内におけるものであり、国内における SDG インデックス&ダッシュボードを参照し、そのインパクトニーズと同社のインパクトとの関係性を確認した。

本 PIF において特定したインパクトに対応する SDGs のゴールは、以下の 4 点である。

- 「 8 : 働きがいも経済成長も」
- 「 9 : 産業と技術革新の基盤をつくろう」
- 「12 : つくる責任つかう責任」
- 「13 : 気候変動に具体的な対策を」

国内における SDG ダッシュボード上では、「9」に関しては「達成に近づいている」とされているものの、「12」、「13」に関しては「大きな課題が残る」、「8」に関しては「重要な課題が残る」とされており、同社における「技術者を助け技術発展に貢献する製品開発」への取り組み、「環境負荷低減への取り組み推進」への取り組み、「働き続けやすい職場の形成」への取り組みなどが、日本国内におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。



(出典 : SDSN)

② 愛知県におけるインパクトニーズ

同社の事業活動は立地する愛知県を中心に行われていることから、「愛知県 SDGs 未来都市計画」を参照し、愛知県内における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

下記の通り、愛知県では「＜経済面＞あらゆる産業において、イノベーションを巻き起こす力強い産業づくりの推進」、「＜社会面＞すべての人が参画し、生涯にわたって活躍できる社会を築いていく、企業等で女性が活躍できる環境を作っていく」、「＜環境面＞多様な主体が連携して生態系を守っていく、企業等と連携しながらカーボンニュートラルの実現にも取り組んでいく」といった課題を SDGs 達成に向け設定しており、同社における「技術者を助け技術発展に貢献する製品の開発」への取り組み、「環境負荷低減への取り組み推進」への取り組み、「働き続けやすい職場の形成」への取り組みなどが、愛知県におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

＜今後取り組む課題＞

（経済面）

○ デジタル化の急速な進展に伴って、産業構造の大きな変化が見込まれる中、自動車産業を始め、**あらゆる産業において、イノベーションを巻き起こす力強い産業づくりの推進**が必要。

（社会面）

○ 今後、人口減少局面に転じるとともに、急速に高齢者が増加。**すべての人が参画し、生涯にわたって活躍できる社会を築いていくことが課題。**

○ 若年女性の東京圏への流出超過が拡大する中で、持続的な発展のためには、若年女性の流入・定着が重要で、**企業等で女性が活躍できる環境をつくっていくことが課題。**

（環境面）

○ 都市化や産業活動により失われた各地域の生態系を再生・回復、維持していくためには、**多様な主体が連携して生態系を守っていくことが課題。**また、我が国随一の産業県として、**企業等と連携しながらカーボンニュートラルの実現にも取り組んでいくことが重要。**

（出典：愛知県第2期 SDGs 未来都市計画の概要）

③ 岐阜信用金庫との親和性

◆「ぎふしん SDGs 宣言」

以下の3項目をSDGs達成に向けた重点課題としている。

- (1) 持続可能な地域の経済成長のための活動
- (2) 持続可能な地域産業の基盤構築のための活動
- (3) 持続可能なまちづくりのための活動

◆親和性の確認

本件 PIF の取り組みに際し特定した同社のインパクトである「技術者を助け技術発展に貢献する製品の開発」については、「ぎふしん SDGs 宣言」の(1)、(2)、(3)と、「環境負荷低減への取り組み推進」については「ぎふしん SDGs 宣言」の(2)、(3)と、「働き続けやすい職場の形成」については、「ぎふしん SDGs 宣言」の(3)と親和性があり、相互に協力しあうことで、「社会」「社会経済」「自然環境」の3つの側面に渡り、持続可能な開発に関する枠組みとして、良質な効果が発生するものと思われる。

以上から、本 PIF の取り組みは追加性のあるPI創出支援を行うものであり、その本源的目的との合致を確認したうえでSDGs達成に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることを目指すものである。

4. KPI の設定

特定したインパクトの発現状況を今後も継続的に測定可能なものとするため、先に特定したインパクトに対し、インパクトの種類、インパクトトピック、関連する SDGs、内容・対応方針および目標と KPI を整理、設定する。

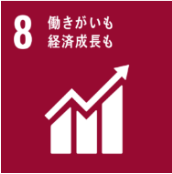
■ 技術者を助け技術発展に貢献する製品の開発

項目	内容
インパクトの種類	社会経済的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトトピック	「零細・中小企業の繁栄」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・研究機関等と連携した「パイロットマシンシリーズ」（試験・研究に用いる試作装置）の開発・提供 ・「パイロットマシンシリーズ」での検証結果等を踏まえて、新技術に対応した製造用装置や検査用装置等の提供継続 ・主力分野である合成繊維以外（食品等）の新規分野を開拓
目標と KPI	・2030 年 9 月期まで年間 2 台の新規パイロットマシンシリーズを開発・提供する。 （2022 年 9 月期～2024 年 9 月期累計：2 台開発） ・2030 年 9 月期までに全社売上高 30 億円以上を達成する。 2022 年 9 月期実績：14.9 億円 2023 年 9 月期実績：14.4 億円 2024 年 9 月期実績：15.6 億円 ※2031 年 9 月期以降の目標は改めて設定する

■環境負荷低減への取り組み推進

項目	内容
インパクトの種類	自然環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトトピック	「気候の安定性」「廃棄物」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・社内 CO2 排出量の見える化と実績推移を基に脱炭素化計画を策定、計画に沿った対策を実施 ・社内システムの DX 化によるペーパーレス化の推進
目標と KPI	・2025 年 9 月期中に社内 CO2 排出量の見える化を図り、測定結果に基づく脱炭素化計画を策定する。 ・脱炭素化計画に沿って 2030 年 9 月期まで売上原単位あたり直前期比で年 4.2%以上の社内 CO2 排出量削減を進める。 ・2030 年 9 月期までに 2024 年 9 月期を基準に紙購入量を 10%削減する。 (2024 年 9 月期実績 : A4-95,000 枚、A3-16,500 枚) ※2031 年 9 月期以降の目標は改めて設定する

■働き続けやすい職場の形成

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトトピック	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・「人」「技術」「創造」の企業理念を叶える人材の採用 ・機械加工技能検定を中心としたスキルアップ支援の実施 ・健康的に働き続けられる職場環境の整備を通じた健康経営の推進
目標と KPI	・2030 年 9 月期までに従業員数を 100 名以上とする。 (2024 年 12 月時点：63 名) ・2030 年 9 月期までに機械加工（旋盤、マシニングセンタ等）技能検定の特級もしくは 1 級取得者を 3 名以上増加させる。 (2025 年 2 月時点：特級 1 名、1 級 0 名) ・2026 年 9 月期までに健康経営優良法人認定を取得し、以後継続する。 ※2031 年 9 月期以降の目標は改めて設定する

5. モニタリング

(1) 同社におけるインパクトの管理体制

同社では、松本社長を中心に自社業務の棚卸を行い、本 PIF におけるインパクトの特定、並びに KPI の設定を行った。

今後については、以下の体制を中心とした同社プロジェクトチームが柱となって SDGs の推進、本 PIF で設定した KPI の進捗管理を行っていく方針である。

【モニタリング体制】

統括責任者	代表取締役	松本 一
実施担当者	経理部	河合 実紅

(2) 当金庫によるモニタリング

本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と岐阜信用金庫の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。情報共有については、少なくとも年に 1 回実施することに加え、日々の情報交換や営業活動を通じて実施していく。

(3) モニタリング期間

下記の通り融資返済期限と同一期間にて定める。

モニタリング期間 (返済期限)	7 年間 (2032 年 3 月 31 日)
--------------------	---------------------------

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、岐阜信用金庫が現時点で入手可能な公開情報、株式会社 AIKI リオテックから提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 岐阜信用金庫が本評価に際して用いた情報は、岐阜信用金庫がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。岐阜信用金庫は、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は岐阜信用金庫に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。